
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **iDWR**

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2009年第32週
(8月3日～8月9日)

* 2009年8月12日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成21(2009)年8月13日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)

FAX：03-5332-7365

e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2009年32週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				全国(診断週)		
		29週	30週	31週	32週	年累計	32週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	79	45	65	55	2469	299	15909
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1 鳥インフルエンザ (H5N1)							
三類	コレラ					1		5
	細菌性赤痢		2	1	1	23		100
	腸管出血性大腸菌感染症	14	18	22	15	139	131	1767
	腸チフス			1		10		19
	バラチフス		1	1		6	1	14
四類	E型肝炎					6		29
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1				10		82
	エキノкокクス症					1		15
	黄熱							
	オウム病					1		14
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサナル森林病							
	Q熱					1		2
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					1		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					2	1	106
	デング熱					12	2	39
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						2	46
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア				2	16	1	38
野兔病								
ライム病			1		1		3	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	2	1	1	2	32	15	418	
レプトスピラ症							6	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		29週	30週	31週	32週	年累計	32週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	1	4	7	87	12	495
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)		1			25	4	136
	急性脳炎 *2		2			14		138
	クリプトスポリジウム症					1		12
	クロイツフェルト・ヤコブ病					11	4	79
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1			9	1	78
	後天性免疫不全症候群	11	18	10	9	311	9	903
	ジアルジア症		1			17		50
	髄膜炎菌性髄膜炎					1		9
	先天性風しん症候群							
	梅毒		5	2	5	129	7	441
	破傷風				1	4		62
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				8		55
	風しん				2	10	6	123
麻しん	2	3		3	80	12	545	
新型※	新型インフルエンザ ※2 ※3	18	47	185	212	668	—	4986
2009/8/12計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

※新型インフルエンザ等感染症 ※2 2009年4月28日に指定された。2009年4月28日から7月23日の期間は全数届出。

2009年7月24日以降は集団発生事例に関連した届出。

※3全国集計は7月24日6:00現在の国内発生累計値(検査対象者を含まない。)

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 55件 肺結核38件、その他の結核6件、無症状病原体保有者11件で、推定感染地は国内53件、フィリピン1件、東南アジア1件、年齢は10歳代2件、20歳代6件、30歳代10件、40歳代2件、50歳代8件、60歳代9件、70歳代12件、80歳代4件、90歳代2件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 1件 患者で、菌種はソネネである。推定感染地は中南米(メキシコ、コロンビア、プエルトリコ)、感染経路はその他(不明)であった。

腸管出血性大腸菌感染症 15件 患者9件、無症状病原体保有者6件。血清型・毒素型はO157(VT1VT2)4件、O157(VT1)2件、O157(VT2)6件、O157(毒素型不明)1件、O165(VT2)1件、血清型不明(VT1VT2)1件で、年齢は10歳未満3件(うち5歳未満2件)、10歳代2件、20歳代3件、30歳代3件、40歳代2件、50歳代2件であった。

〈四類感染症〉

マラリア 2件 いずれも熱帯熱マラリアで、推定感染地はガーナ1件、ギニア(マムー)1件であった。

レジオネラ症 2件 いずれも肺炎型で、年齢は50歳代1件、90歳代1件。いずれも推定感染地は国内で、感染経路はその他(不明)である。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 7件 腸管アメーバ症6件、腸管外アメーバ症1件で、推定感染地は国内6件、グアム1件、推定感染経路は飲食物又はプールによる感染1件、性的接触2件、その他(不明)4件であった。

後天性免疫不全症候群 9件 全て無症候キャリアで、年齢は20歳代4件、40歳代4件、60歳代1件であった。推定感染地は国内6件、タイ1件、ガーナ1件、不明1件、推定感染経路は全て性的接触(同性間7件、異性間2件)であった。

梅毒 5件 早期顕症梅毒Ⅰ期1件、早期顕症梅毒Ⅱ期2件、無症候2件で、推定感染地は国内3件、タイ1件、中国1件、推定感染経路は全て性的接触(同性間3件、異性間1件、不明1件)であった。

破傷風 1件 患者は60歳代で、創傷からの感染が疑われている。

風しん 2件 検査診断例1件、臨床診断例1件で、年齢はどちらも10歳未満、風しん含有ワクチン接種歴は無し1件、1回1件であった。

麻しん 3件 麻しん(検査診断例)2件、修飾麻しん(検査診断例)1件で、年齢は10歳未満2件、30歳代1件。麻しん含有ワクチン接種歴は無し1件、1回2件であった。

〈新型インフルエンザ等感染症〉

新型インフルエンザ 212件 患者(確定例)49件、疑似症163件で、年齢は10歳未満89件、10歳代94件、20歳代23件、30歳代5件、40歳代1件であった。

※第31週該当分として、三類 腸管出血性大腸菌感染症 3件(患者2件、無症状病原体保有者1件、全てO157VT1VT2、同居家族)、新型インフルエンザ等感染症 新型インフルエンザ 101件(全て疑似症)の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2009年32週

定点種別	対象疾患	2009年					報告医療機関数	定点医療機関数
		29週	30週	31週	32週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	5	7	7	19	0.13	143	150
	咽頭結膜熱	60	35	39	24	0.17		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	163	119	95	86	0.60		
	感染性胃腸炎	508	437	459	404	2.83		
	水痘	141	79	81	74	0.52		
	手足口病	167	187	293	276	1.93		
	伝染性紅斑	62	31	45	41	0.29		
	突発性発しん	103	94	92	103	0.72		
	百日咳	10	9	2	8	0.06		
	ヘルパンギーナ	182	167	257	286	2.00		
	流行性耳下腺炎	139	144	126	139	0.97		
	不明発しん症 (注1)	30	25	26	33	0.23		
MCLS(川崎病) (注1)	0	2	2	1	0.01			
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	72	82	277	466	1.68	278	290
眼科	急性出血性結膜炎	1	1	2	0	0.00	35	39
	流行性角結膜炎	21	11	17	21	0.60		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	0	0	1	1	0.04	23	24
	無菌性髄膜炎	1	0	2	2	0.09		
	マイコプラズマ肺炎	8	5	10	8	0.35		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	0	0	0	0.00		

2009/8/12集計

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・手足口病の定点当たり報告数は減少した。しかし過去5年平均の同時期と比較して高い。
- ・ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。
- ・流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は微増した。今年に入ってから過去5年平均と比較して高いレベルで推移している。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は増加し、流行開始の目安となる定点当たり報告数1.0を超えた。感染症法施行(1999年)以来、同時期としては最も報告数が多く、注意が必要である。

(定点医療機関からのコメント)

大田区保健所管内定点医療機関

- ・1歳児、他医で病原性大腸菌とのこと。

* インフルエンザに関するコメントは13-14頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2009年32週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	2			13	2	2		4	1	3
～11か月	9	1	6	45	5	21		48		32
1歳	7	3	1	73	9	81	2	41		79
2歳	1	3	3	43	6	64	3	7		59
3歳		2	6	33	24	34	5	2		43
4歳		6	12	23	8	27	14	1		26
5歳		3	13	37	13	19	6			16
6歳		1	10	21	4	8	4			10
7歳		1	5	13		4	3		1	6
8歳		2	10	10	1	1				3
9歳			3	12	2	4	2			1
10～14歳		2	10	27		7	2		1	7
15～19歳				15						
20～29歳			7	39		4			5	1
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	19	24	86	404	74	276	41	103	8	286
先週比	12	-15	-9	-55	-7	-17	-4	11	6	29

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		1				
～11か月		7	1	6		
1歳	7	11		8		
2歳	17	7		12		
3歳	19	2		10		
4歳	13	2		14		
5歳	29	2		13		
6歳	15	1		15		
7歳	10			19		
8歳	8			27		
9歳	7			25		
10～14歳	9			99		
15～19歳	1			98		
20～29歳	4			66		4
30～39歳				22		9
40～49歳				22		1
50～59歳				8		2
60～69歳				2		2
70～79歳						3
80歳以上						
合計	139	33	1	466		21
先週比	13	7	-1	189	-2	4

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数 【年齢階級別】 2009年32週

	風しん	麻しん
0歳		1
1歳	1	
2歳	1	
3歳		1
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		
30～39歳		1
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	2	3

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2009年32週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田	1	1				4				1
中央区			2	9	5	3		2		9
みなと		1	2	20	2	14	2	8		21
新宿区			5	11		3	1	1		8
文京				2						
台東	4	2	2	28	4	1	5	2		6
墨田区			4	10		8		2		3
江東区			4	21	4	13		4		8
品川区			6	24	1	15		3		13
目黒区					1	3				
大田区	4	3	7	40	4	13	3	1	4	24
世田谷		4	2	14	1	17	2	2		29
渋谷区		4		6		6		1		9
中野区			2	26	1	8		1		9
杉並			1	13	1	19	1	1		3
池袋		1	2	4	1	2	3			
北区		1	3	4	2	2	1	2		1
荒川区	3		1	3		1	3	2		1
板橋区			2	8	3	5	1	1	1	3
練馬区				5	4	17	1	8		10
足立		1	1	7	1	4	1	10		2
葛飾区			1	3	5	23	2	5		6
江戸川	5	3	4	10	1	27	1	4		38
八王子市		1	13	40	5	9	2	10	2	13
西多摩				12	4	16	1	4		2
南多摩				12	2	3		3	1	3
町田			15	24	5	14	8	9		25
多摩立川				13		4		3		4
多摩府中		2	2	6	2	10	3	4		17
多摩小平	2		5	29	15	10		10		16
島しょ						2				2
東京都合計	19	24	86	404	74	276	41	103	8	286

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2009年32週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田	1		1	1		
中央区	1			2		
みなと	7			13		
新宿区	1			9		6
文京				4		1
台東	2			5		
墨田区	4			13		1
江東区	4	2		26		
品川区	1			14		2
目黒区				2		
大田区	7	1		38		1
世田谷	2	1		39		
渋谷区				9		1
中野区	1	1		14		
杉並	3			12		1
池袋				8		
北区	2	7		9		1
荒川区	1			1		
板橋区	4	1		10		
練馬区				23		
足立	4	3		8		3
葛飾区	11	1		18		
江戸川	5			22		
八王子市	24	6		17		1
西多摩	22	1		11		
南多摩	7			26		
町田	15	8		14		
多摩立川	5			8		1
多摩府中	4	1		62		
多摩小平	1			17		2
島しょ				11		

東京都合計	139	33	1	466	-	21
-------	-----	----	---	-----	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		1
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		1
江戸川	1	
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田	1	1
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	2	3
-------	---	---

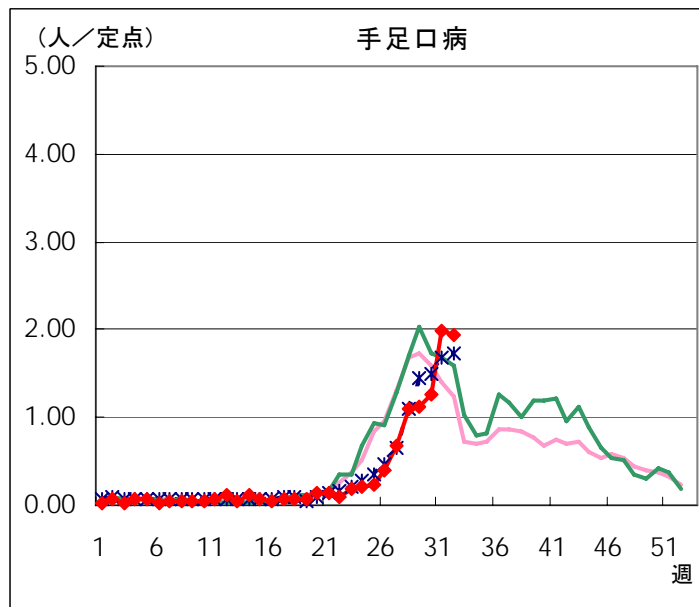
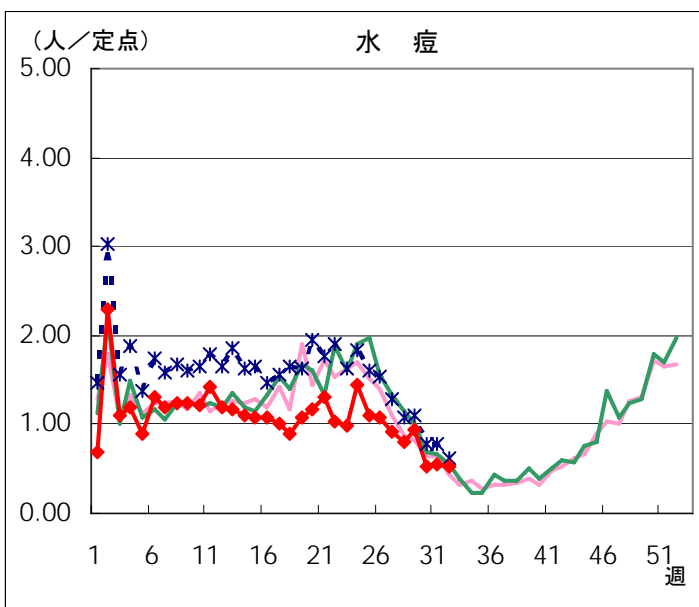
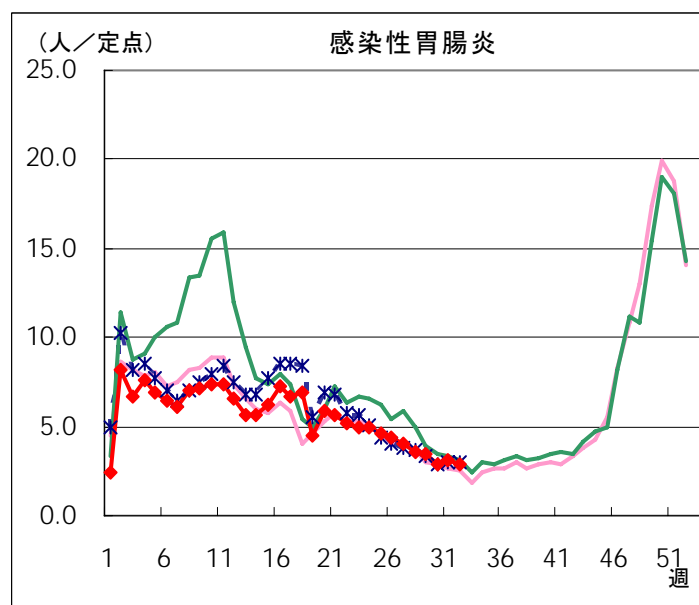
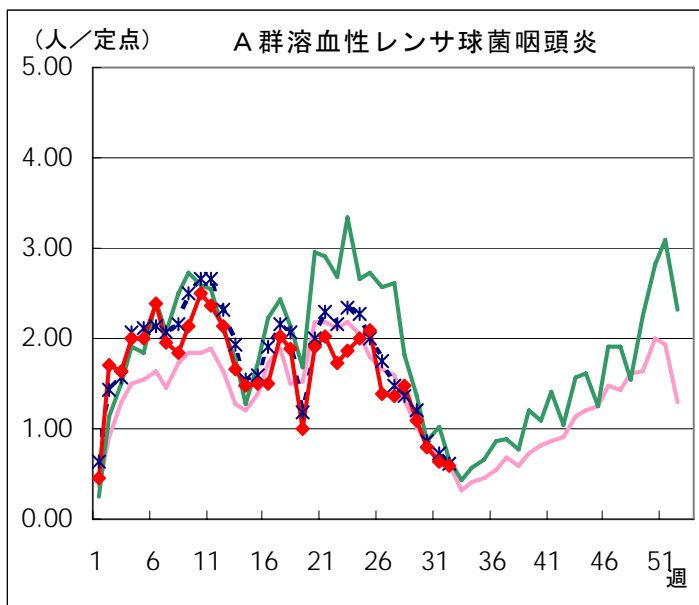
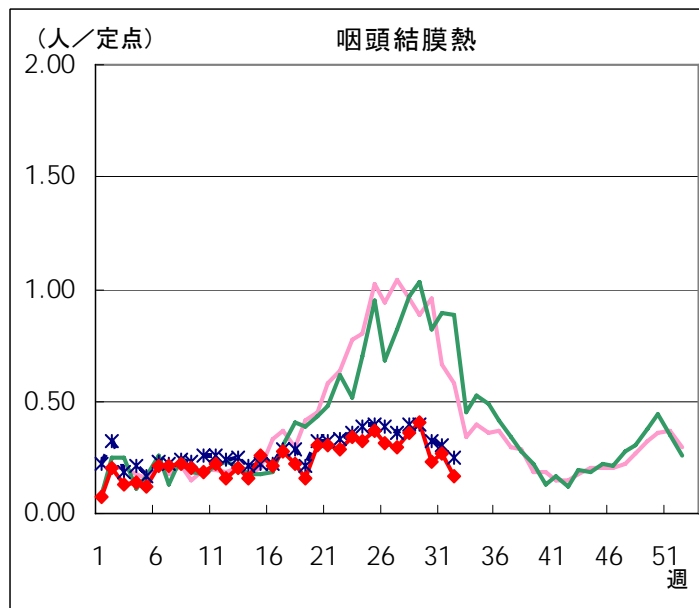
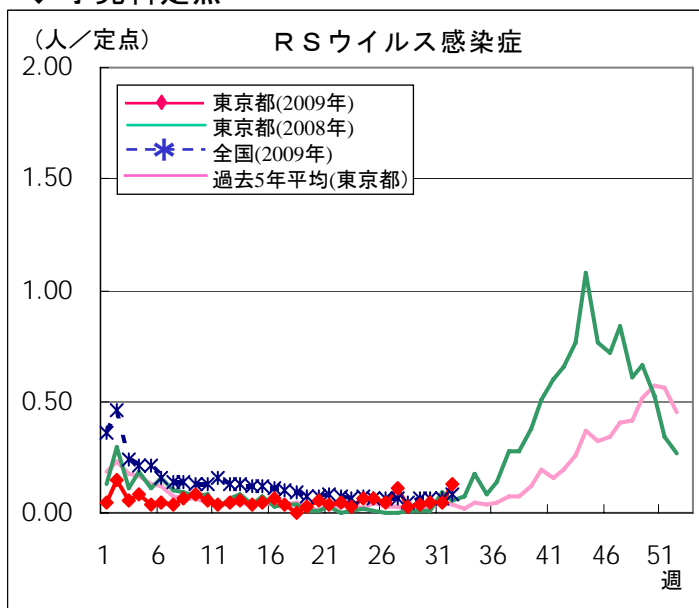
定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2009年32週

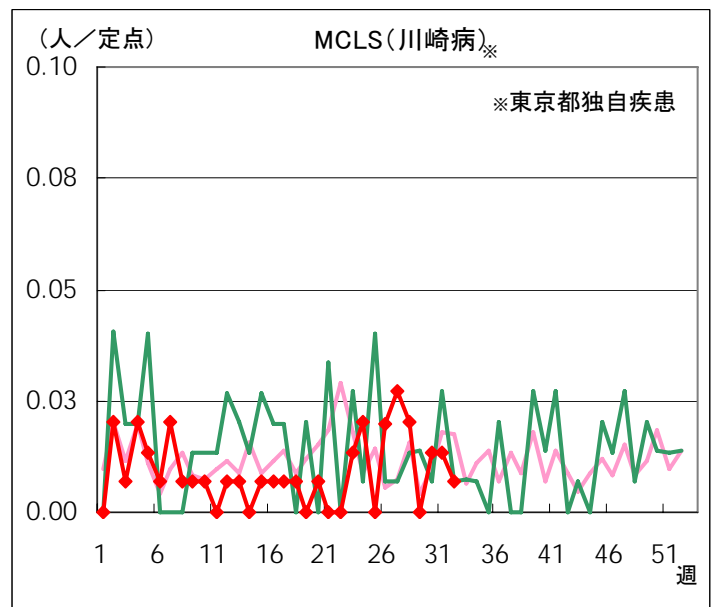
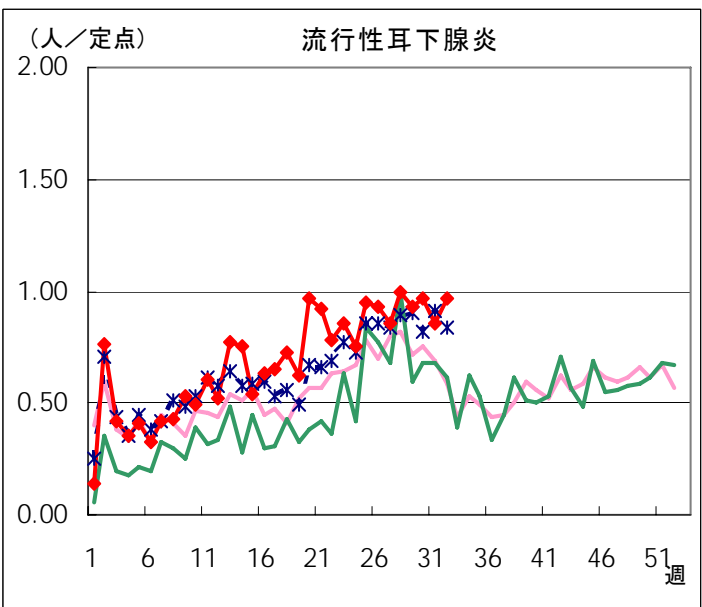
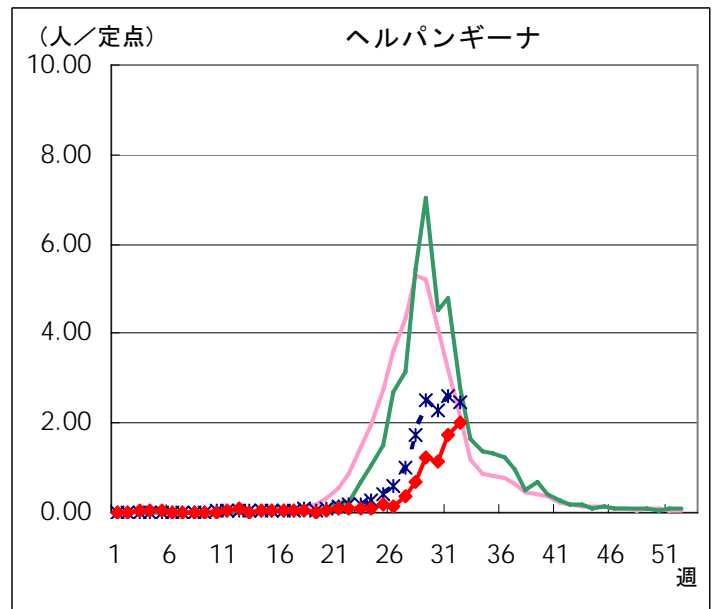
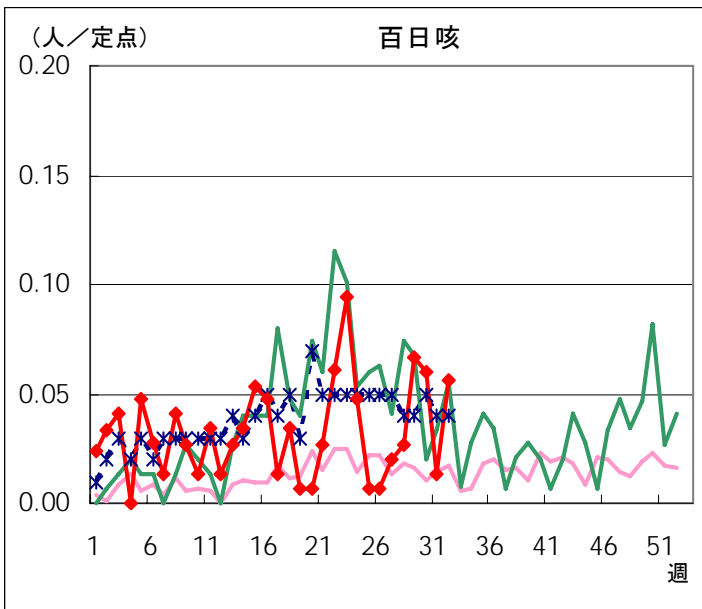
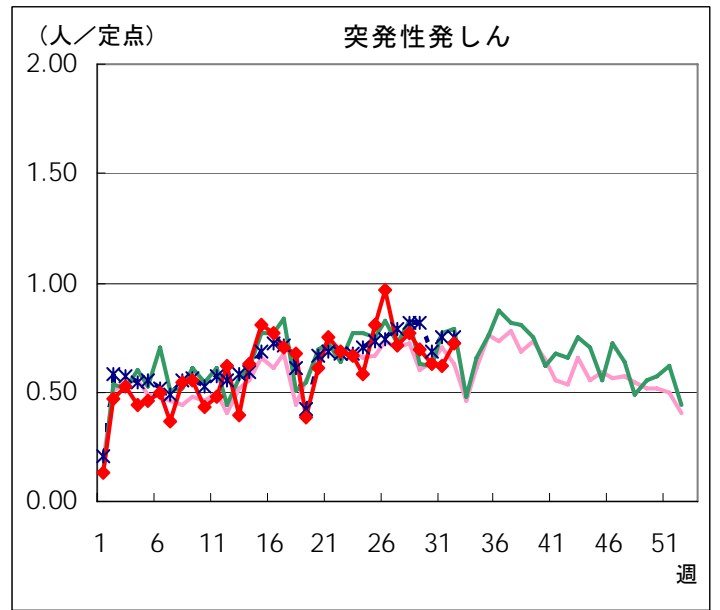
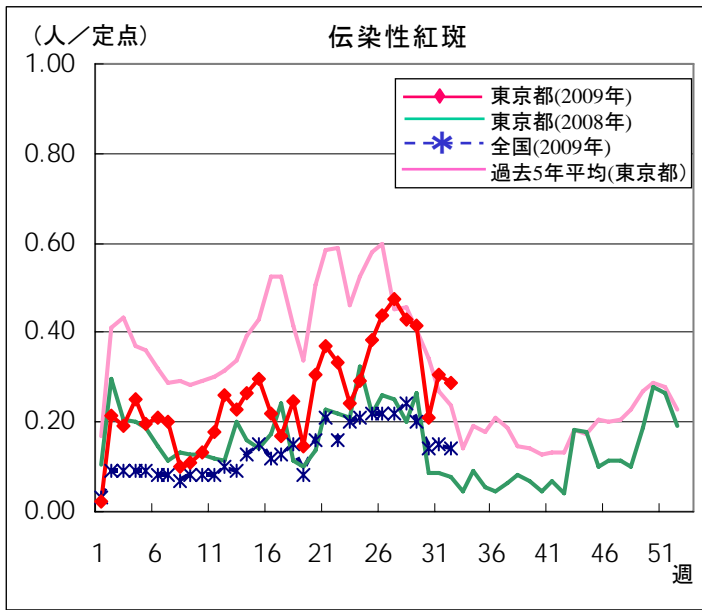
定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田	0.25	0.25				1.00				0.25
中央区			0.67	3.00	1.67	1.00		0.67		3.00
みなと		0.17	0.33	3.33	0.33	2.33	0.33	1.33		3.50
新宿区			0.83	1.83		0.50	0.17	0.17		1.33
文京				1.00						
台東	1.33	0.67	0.67	9.33	1.33	0.33	1.67	0.67		2.00
墨田区			1.33	3.33		2.67		0.67		1.00
江東区			1.33	7.00	1.33	4.33		1.33		2.67
品川区			1.00	4.00	0.17	2.50		0.50		2.17
目黒区					0.33	1.00				
大田区	0.44	0.33	0.78	4.44	0.44	1.44	0.33	0.11	0.44	2.67
世田谷		0.50	0.25	1.75	0.13	2.13	0.25	0.25		3.63
渋谷区		1.00		1.50		1.50		0.25		2.25
中野区			0.33	4.33	0.17	1.33		0.17		1.50
杉並			0.25	3.25	0.25	4.75	0.25	0.25		0.75
池袋		0.33	0.67	1.33	0.33	0.67	1.00			
北区		0.25	0.75	1.00	0.50	0.50	0.25	0.50		0.25
荒川区	1.50		0.50	1.50		0.50	1.50	1.00		0.50
板橋区			0.33	1.33	0.50	0.83	0.17	0.17	0.17	0.50
練馬区				1.00	0.80	3.40	0.20	1.60		2.00
足立		0.20	0.20	1.40	0.20	0.80	0.20	2.00		0.40
葛飾区			0.25	0.75	1.25	5.75	0.50	1.25		1.50
江戸川	1.00	0.60	0.80	2.00	0.20	5.40	0.20	0.80		7.60
八王子市		0.25	3.25	10.00	1.25	2.25	0.50	2.50	0.50	3.25
西多摩				3.00	1.00	4.00	0.25	1.00		0.50
南多摩				3.00	0.50	0.75		0.75	0.25	0.75
町田			3.75	6.00	1.25	3.50	2.00	2.25		6.25
多摩立川				2.17		0.67		0.50		0.67
多摩府中		0.20	0.20	0.60	0.20	1.00	0.30	0.40		1.70
多摩小平	0.33		0.83	4.83	2.50	1.67		1.67		2.67
島しょ						2.00				2.00
東京都	0.13	0.17	0.60	2.83	0.52	1.93	0.29	0.72	0.06	2.00

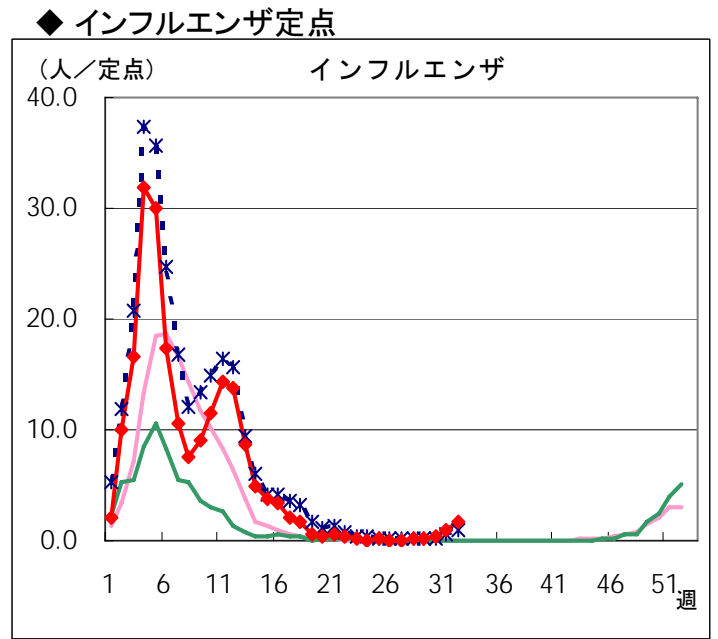
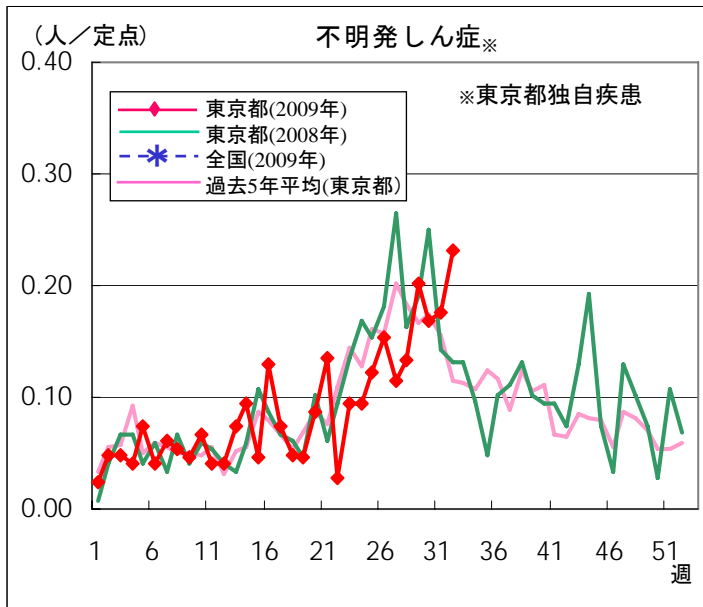
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田	0.25		0.25	0.25		
中央区	0.33			0.50		
みなと	1.17			1.63		
新宿区	0.17			1.00		3.00
文京				1.00		1.00
台東	0.67			1.00		
墨田区	1.33			2.17		1.00
江東区	1.33	0.67		3.25		
品川区	0.17			1.40		2.00
目黒区				0.33		
大田区	0.78	0.11		2.38		0.50
世田谷	0.25	0.13		2.44		
渋谷区				1.80		
中野区	0.17	0.17		1.56		
杉並	0.75			1.20		1.00
池袋				1.33		
北区	0.50	1.75		1.50		1.00
荒川区	0.50			0.25		
板橋区	0.67	0.17		0.83		
練馬区				1.92		
足立	0.80	0.60		0.67		1.50
葛飾区	2.75	0.25		2.00		
江戸川	1.00			1.83		
八王子市	6.00	1.50		1.70		1.00
西多摩	5.50	0.25		1.38		
南多摩	1.75			3.25		
町田	3.75	2.00		1.56		
多摩立川	0.83			0.62		0.50
多摩府中	0.40	0.10		2.95		
多摩小平	0.17			1.21		1.00
島しょ				5.50		
東京都	0.97	0.23	0.01	1.68	-	0.60

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2009年32週現在

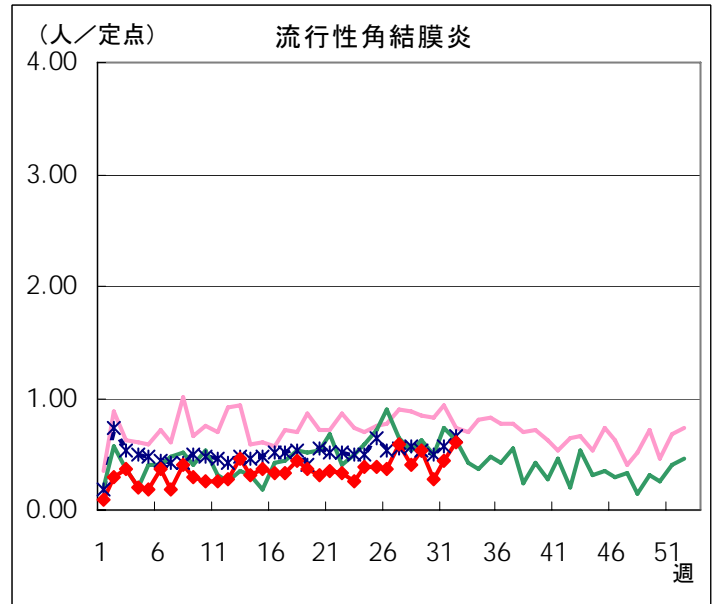
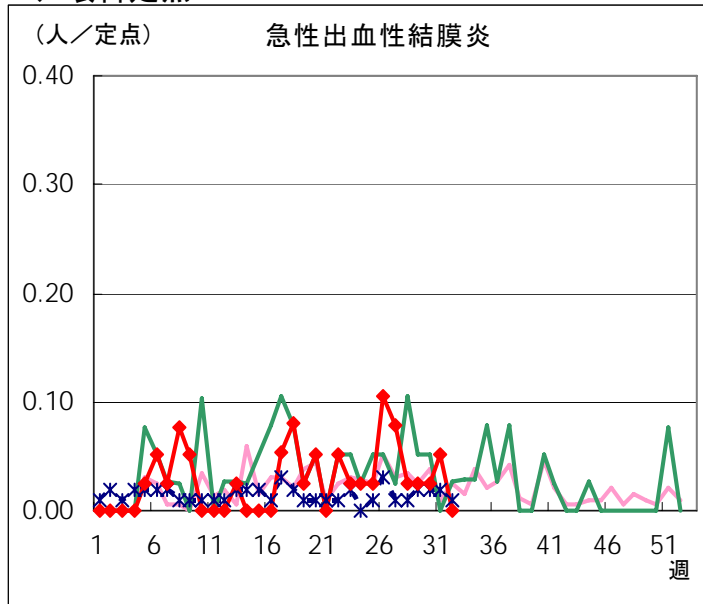
◆ 小児科定点



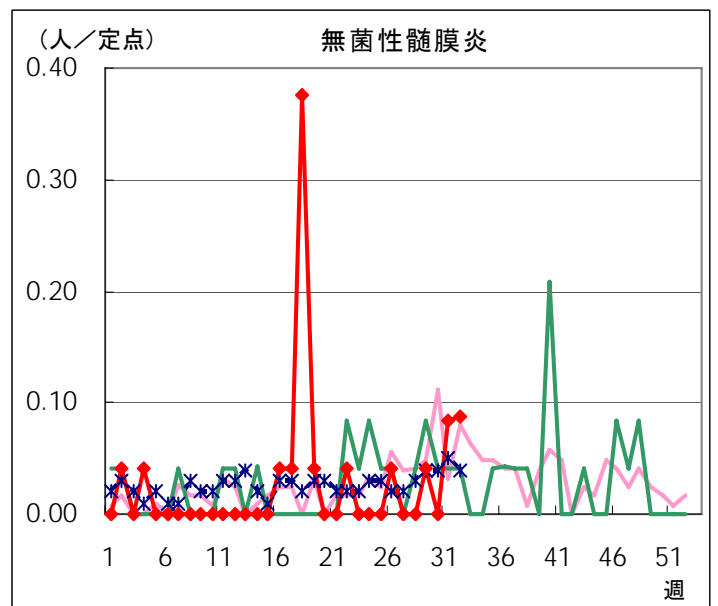
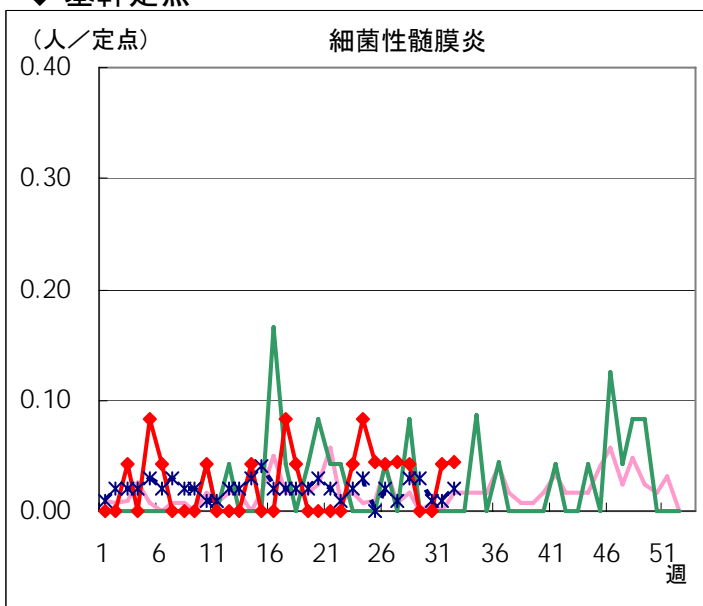


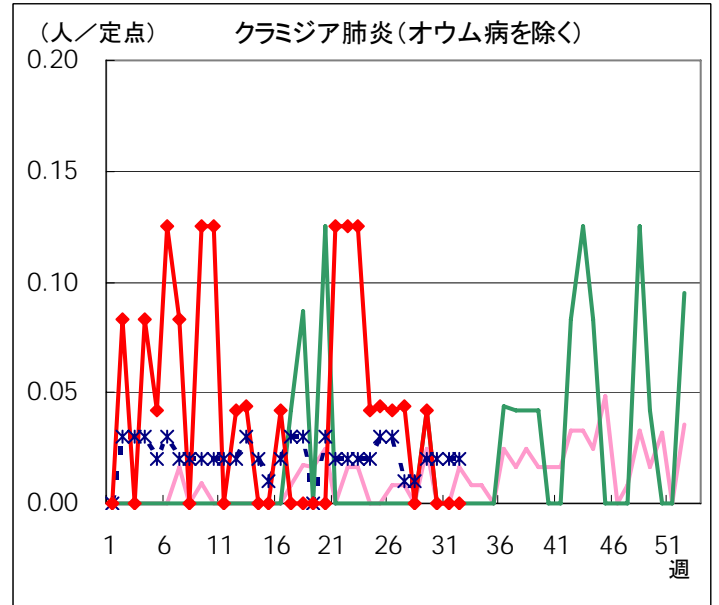
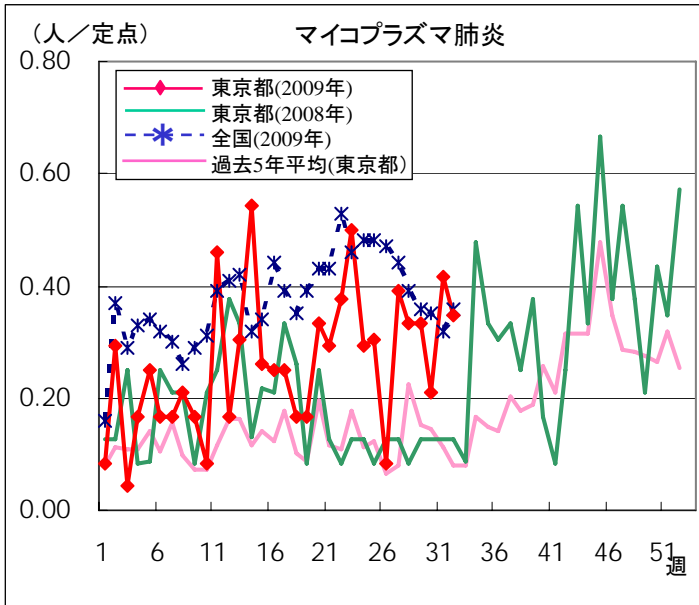


◆ 眼科定点

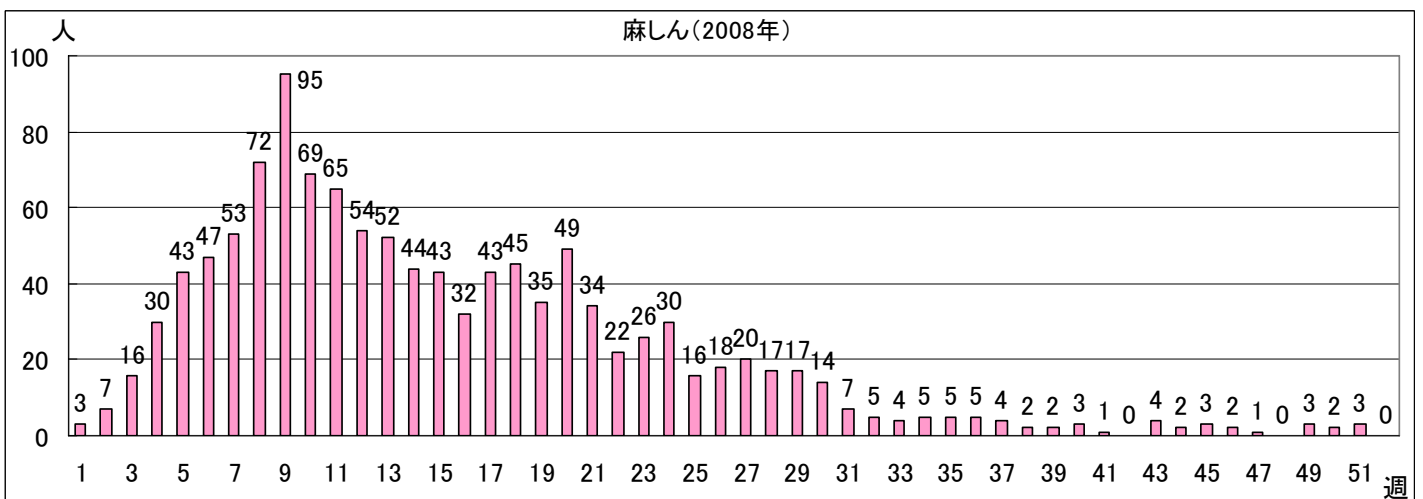
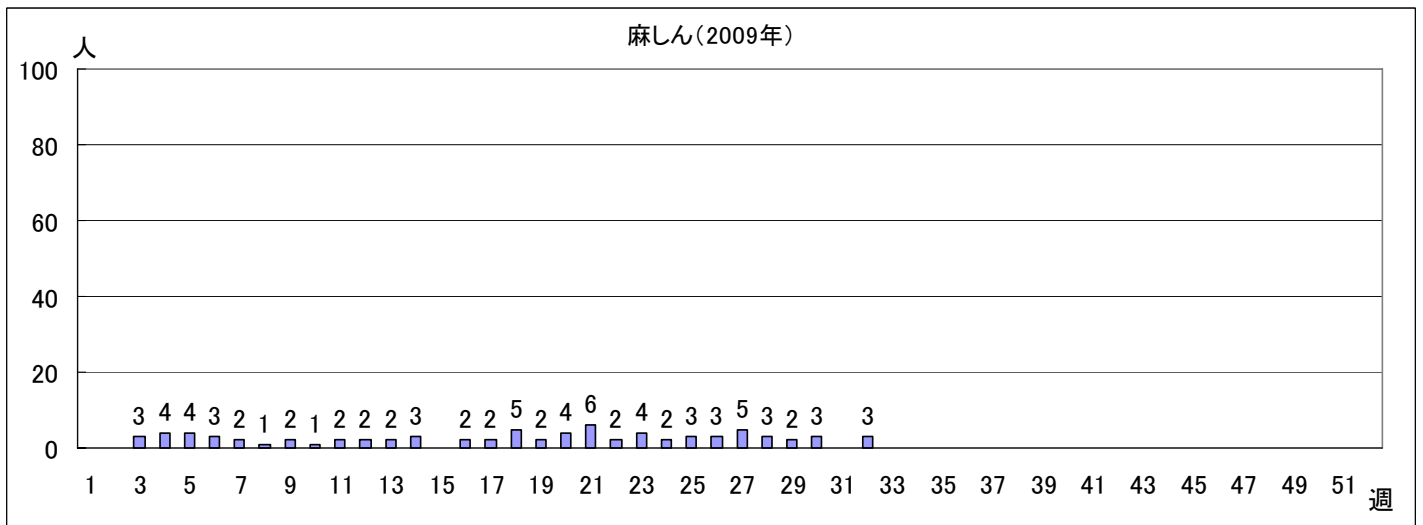


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2009年32週現在



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果等に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント	
	A	B		
みなと	2		姉妹	
	2			
新宿区	5		全てA型ですが家族内感染が2組です	
	1			
	2			*成人(内科)でも男6人 女2人計8人がA型(+)です。
江東	5		キャンプ、学童クラブで発生	
	19			
品川区	7			
	1			
目黒区			2名、課外活動にて感染	
大田区	6		単発のインフルエンザA2名	
	2			
	1			
	1			
	5			5名全部A型です。高校生1名、他は社会人、社会人に広がっています。
	1			
世田谷区	2		大学サークルにて、新型インフルエンザ確定した人あり。本人A型。	
	1			
	1			
	5			
	4			各人、同一集団ではない。
中野区	2			
	2			
	2			
	3			
	3			
	1			
杉並	1		ともに集団発生はなし	
	2			
	2			2人とも合宿に参加
池袋	1			
	4			
北区			4名。今月は急にインフルエンザA型が同時多発しています。新型インフルエンザの人がいたキャンプ、喘息学校、バレーボール合宿などで、経路不明は1例です。	

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
西多摩	1		他1名
	4		
多摩立川	1		大学生 合宿所にて発病
	1		
多摩府中	1		3名。インフルエンザA 型増加傾向のようです。
多摩小平	6		PCR未検にて新型かどうかは不明
	1		
	2		PCRはしていません。
			2名。発熱患者全例検査すれば更に増える可能性があります。 市内ではかなり蔓延しているようです。
	1		
八王子市	2		
	2		
	1		
	3		

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
7/22	気管支炎	9M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	遺伝子
7/22	肺炎	2	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型	
7/24	脳炎	5	糞便	エンテロウイルス	
7/24	脳炎	5	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/24	肺炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス	
7/25	無菌性髄膜炎	13	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/26	髄膜炎	24D	髄液	エンテロウイルス	
7/27	流行性耳下腺炎	6	咽頭拭い液	ムンプスウイルス、EBウイルス	
7/27	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
7/27	手足口病	23	水疱内容物	エンテロウイルス	
7/27	肺炎	2	咽頭拭い液	RSウイルス	
7/27	急性胃腸炎	8M	糞便	アデノウイルス、エンテロウイルス	
7/27	川崎病	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型	
7/27	髄膜炎	4D	髄液	エンテロウイルス	
7/28	流行性耳下腺炎	6	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
7/28	不明発しん症	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス、EBウイルス ヒトヘルペスウイルス6型	
7/28	無菌性髄膜炎	10	髄液	エンテロウイルス	
7/28	無菌性髄膜炎	39	髄液	エンテロウイルス	
7/28	急性胃腸炎	1	糞便	エンテロウイルス	
7/28	無菌性髄膜炎	1M	髄液	エンテロウイルス	
7/28	急性胃腸炎	1	糞便	エロモナス菌	
7/29	無菌性髄膜炎	5d	糞便	エンテロウイルス	
7/29	無菌性髄膜炎	5d	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/29	無菌性髄膜炎	29	髄液	エンテロウイルス	
7/29	不明発しん症	9M	咽頭拭い液	アデノウイルス ヒトヘルペスウイルス6型	
7/29	マイコプラズマ肺炎	6	咽頭拭い液	マイコプラズマ パラインフルエンザウイルス1型	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
7/30	咽頭炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子
7/30	不明発しん症	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス パルボウイルスB19 ヒトヘルペスウイルス6型7型	
7/30	嘔吐精査	8M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/30	咽頭炎、気管支炎	1	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型	
7/31	感染性胃腸炎	59	糞便	ノロウイルス	
7/31	急性胃腸炎	3M	糞便	ライノウイルス	

◇定点医療機関から搬入された検体の遺伝子検査法による亜型

亜型検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型	AH3型	B型	AH1pdm(新型)
31週	0	0	0	18
今シーズン累計	223	111	102	22

*AH1pdm: 新型インフルエンザウイルス(ブタ由来インフルエンザウイルスA/HINI)

オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況

8/13現在

調査方法	A/H1N1分離株 (Aノ連型)	耐性株
感染症発生動向調査	33	33
学級閉鎖等	20	20

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2009年							
		24週	25週	26週	27週	28週	29週	30週	31週
ウイルス	アデノウイルス	5	7	8	13	4	6	4	4
	ライノウイルス	2	3	1	4	4	6		1
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	3	3	5	5	16	5	5	18
	単純ヘルペスウイルス				1	5		1	
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	3	10	3	6	5	3	1	6
	EBウイルス	1	3	5	2	4	3	1	2
	サイトメガロウイルス	1					1		
	ムンプスウイルス	6		2	2	1	5	3	2
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19					1			1
	RSウイルス	1						1	1
	ノロウイルス								1
	ロタウイルス								
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3								
	インフルエンザウイルスB								
新型インフルエンザウイルスAH1pdm						1	3	18	
デングウイルス(抗体を含む)			1						
その他のウイルス	9	4	7	12	13	1	9	3	
細菌	カンピロバクター	1							
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌		1		5	1			
	その他の細菌	1		1	3	2			2
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2009年24週～2009年31週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	32	52	80	28	61	9	3	8	4	8	1	30	13				154	
ウイルス	アデノウイルス		10	9	3		2	3		1		9	1				13	
	ライノウイルス		1	4	1		1					2	4				8	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス	1	12	8	3	10	2		1	5		6	1					11
	単純ヘルペスウイルス		3			1			2	1								
	水痘・帯状疱疹ウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7		2	3		1						12	1					18
	EBウイルス		1			4			1			6	5					4
	サイトメガロウイルス												1					1
	ムンプスウイルス					10								6				5
	麻疹ウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19											1	1					
	RSウイルス			3														
	ノロウイルス				1													
	ロタウイルス																	
インフルエンザウイルスAH1																		
インフルエンザウイルスAH3																		
インフルエンザウイルスB																		
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	20	1															1	
デングウイルス(抗体を含む)																	1	
その他のウイルス		17	30	3		1											7	
細菌	カンピロバクター				1													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌		4					1									2	
その他の細菌		4	3	1													1	
その他の病原体																		